

令和 6 年 1 月 18 日開催 和泉市教育委員会意見交換会並びに事前報告会要旨

出席者 小川教育長、深堀職務代理者、西家教育委員、久米教育委員、中西教育委員、小谷教育委員

教育委員会事務局 土本教育次長、辻部長、上田指導監、鍛冶次長、佐々木室長、西田室長、濱田課長、山本課長

	議題	要旨
案件 1	学校給食費改定の検討について	○改定理由 ・継続する物価高騰の影響を受け、現行の学校給食費では、献立作成や調理方法の工夫などによる対応では質を維持することが困難 ・今後も引き続き物価高騰が見込まれる →栄養価の高い給食の提供と安定的な運営を継続するために改定はやむを得ない ○令和 6 年度改定額（案） ・小学校：4,920 円（350 円増額） ・中学校：5,520 円（390 円増額） ○給食費改定の変遷 【令和 2 年度】学校給食摂取基準改定及び食材価格上昇のため ・小学校：4,200 円 ・中学校：4,700 円 【令和 4 年度】米飯給食回数増加及び 8 月給食実施のため ・小学校：4,360 円 ・中学校：4,900 円 【令和 5 年度】食材価格上昇のため ・小学校：4,570 円（市補助額 210 円） ・中学校：5,130 円（市補助額 230 円） ○給食費増額への対応（※予算要求中） ・改定した場合、令和 4 年度から 3 年連続の増額となる ・令和 5 年度の学校給食費については、物価上昇見込相当額を単年度に限り市が補助することにより、保護者負担額を据え置いたものの、令和 6 年度は保護者負担となることに加え、さらなる物価上昇により必要となる増額分を合わせると、大幅に保護者負担が増加することとなり、子育て世帯に与える影響は大きい

案件 2	(仮称) 北部総合スポーツセンター基本構想策定業務について	→令和 6 年度の学校給食費については、令和 6 年度において必要な増額分は市が補助することとし、保護者負担額の増額について抑制を図る ○今後のスケジュール ・ 2 月 1 日：令和 6 年教育委員会第 2 回定例会にて報告 ・ 2 月 2 日：学校給食会理事会にて審議 ●委員の意見 ・ 値上げが続き、色々なところで市民生活が厳しくなっている ・ 保護者負担額（令和 5 年度市補助分）が増加することについて、保護者から理解を得られるよう丁寧な説明をお願いしたい ・ 献立作成や調理方法の工夫などによって、増額分をできる限り抑えていただいていることが分かった ○北部地域公共施設整備事業の経過 【平成 15 年 3 月】 陸上自衛隊における介在民有地解消事業に合わせ、演習場内の介在民有地を取得し、北部地域に不足しているスポーツ・レクリエーション施設を信太山丘陵に整備するべく北部地域公共施設整備事業計画を策定 【平成 23 年度】 平成 21～22 年度の自然環境調査で、当該市有地には絶滅危惧種を含む多様な野生生物を確認。自然環境の保全について、市民から請願が提出され、市議会において採択 →北部地域のスポーツ施設計画は継続し、信太山丘陵市有地の代替となる候補地を検討 ○候補地の検討 ・ 大阪市立信太山青少年野外活動センターの活用について大阪市と協議 →大阪市との調整がまとまらず、活用不可 ・ 旧泉北水道企業団跡地を候補地として検討を進める ○旧泉北水道企業団跡地 ・ 近畿財務局からの借地と、泉大津市・高石市・和泉市の共有地で、面積は約 15 万 7 千㎡ ・ 原状回復したうえで近畿財務局に返還する必要あり ・ 返還後、「公的利用再検討財産」と判断されれば、公園等用
-------------	--------------------------------------	--

		途に限定して再度、借地可能 ●委員の意見 ・ 20 年前の計画ありきで進めているように感じるが、施設の必要性について、市民の理解を得られるよう、しっかりと周知や説明をする必要がある ・ 新たな箱物を作っていくという考え方に対しては、シビアな感覚を持って進めていくべき ・ 時代のニーズも捉えて、内容を考えていく必要がある ・ 長期的な計画となるので、信太山青少年野外活動センターとの連携や和泉市温水プールの今後の方向性なども含め、検討していただきたい
--	--	--